

No. 185

1月 43年

田代町総務課編集 毎月5日 1,650部発行

謹賀新年

一九六八年元旦

新なる春を迎えて

町長挨拶



謹んで四三年の新春のお祝を申し上げます。

昨年は未曾有の大豊作の年であり災害もなく良い年でありました。今年も又よい年であります様心から祈つてやみません。

今年は明治維新がなつて丁度百年いわれる明治百年にあたる年であります。

明治維新と言ふのは徳川幕府による政治が天皇のもとにかえり国民が直接政治に参加する今日の民主主義政治がはじめて我国に生れた我国の歴史上の大事件であります。その故に明治百年とは我国民主主義政治が始まつて百年と云う意味があり国民すべてがその意義を考える価値のある年と云えましよう。

さて我が郷土田代の百年を振かえつて見ると新しい時代の流れと共に色々と変つて来て居ります。

詳しくは書けませんが例えば明治末年から大正初年の田代の人口は約一五〇〇名あつたが現在六五〇〇名位になつております。

この正月を利用して部落の七〇八〇才の古老の方々に昔の田代の様

子をきき現状と比較して見る事等は意義深い事でしよう。その中に百年後の田代町のすがたを話合ふ事が田代発展のためになることと考へます。

次に昭和四十六年は田代が町制を施行して一〇週年になります。

明治百年から町制一〇週年迄の間に我々が将来にのこす記念事業や記念行事を種々考へて見たいと思ひます。

皆さん方の中から多数の意見が出る事を期待して居ります。

私は今日迄田代町発展の骨ぐみをつくりたいと考へ道路開発河川改修橋のかけかえ中学校等教育施設の充実、産業基盤をつくるための農村集落改善事業開拓パイロットによる茶園桑園造成畜産振興のための放牧事業等の事業を進めて参りました。

しかし町内の一部の地域に行われただけに過ぎません。今後は町内に広く事業を進める段階だと考へて居ります。

明治百年を迎え次の百年の間に田代町内のすべてに近代的農業が出来る様田代や畑や農道の整備を進める事が田代として最大の急務と考へます。

手はじめに麓地区の河川改修に併行して耕地整理事業を四四年度位から実施出来る様にと考へて居ります。皆さん方の御協力をお願い申し上げます。

光をみつめて今年も又一歩一歩前進しましょう。おたがいの幸せを築き明るく豊かで住みよい郷土を築くために。

築くために。

年頭のことは

会議議長

押川 熊次郎



町民の皆さん、明けましてお目出度うございます。心から皆さんの御健勝を御祝ひ申し上げます。本年は明治維新百年に当る年に意義深い新年であります。我が国が東洋の貧弱な一少国から一強世界の先進国へと飛躍発展したことは、特に明治維新に於てその基礎が築かれたもので各列強は争つてももろの目さしい躍進振を遂に二十世紀の奇跡として刮目し高く評価していると云われて居ります。

ひるがえつて我が田代町が今日人の和の下、財政的平等に於ても他町に比較的裕福であり且つ繁栄しつつあると云われる所以も即ち明治維新から昭和、大正にかけて先達、先賢の諸施策がその宜しきを得た賜に外なりません。此の肝銘すべき過去の百年を単なる回顧録に終らせずこれを記念して、町政に新風を吹込み以て新たに百年の大計を樹て、将来の再飛躍を期して前進することこそ吾等の責務であると痛感する次第であります。過ぎし四十二年は所謂選挙の年でもありました。衆議院の総選挙に次いで知事、県議、町議等の選挙が行なわれ、その結果我が田代

町から光栄に輝く衆議院議長が誕生しました。我が南隅からの県会議長は根占町より故坂口議長出現以来実に二十三年振りであります。今やその議長は正に定評のあるところ。海に御同慶にたえず、衆議院議長今後の御発展を衷心より祈念すると同時に我等の責任も又重大なることを自覚せねばなりません。

旧年中町内の主な業績は町民皆さんの御健勝、御協力のお陰で十大ニュース等にも出ています。通じますがその中でも我が町議会が経費節約と少数精鋭主義をかざして十八名定員を自発的に四名減して十四名に止し、県内最低額の報酬に甘んじて更に積極的活動を促進し、顕著なる実績を挙げつつあることがあります。

これを例示すれば定例及び臨時議会、全員協議会、常任委員会等二十一回会合し、議案五十五件可決し、議決した一般及び特別会計予算三億三千七百三十三万四千七百六十六円、出席率九十六名の成績を示して居ります。

新しい今年には更に農、林業の推進、商工業の発展策等重大な懸案が山積して居りますが就中、田代高校と南大隅高校農林科との統合を目のむ県立移管問題は教育町を

目指す本町の重要課題であります。教育が国の繁栄と住民福祉の基礎作りとなり先投資中最も大なる利益をもたらす原動力となることに思を致し全町民の固き信念と奮起を要する次第であります。いわゆる民主政治とは即ち議会政治であります。住民の意思を代表する私たちが議員一同は一言一句が住民の意見であり、気持であることと云う自覚に徹して研努力する覚悟であります。

新しい茶業経営をめざして

めざすは九州の茶園づくり

漆原で茶業実習

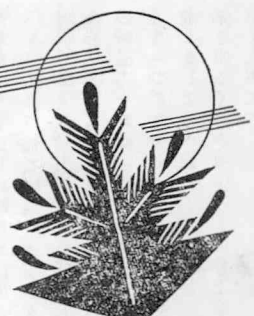
鹿児島県の君付君、川畑君



この二人は、鹿児島県君付村、川畑村の青年で、昨年四月田代町に茶実習に来た。彼等は、茶の栽培の技術を知りたいと、田代町に訪ねて来た。彼等は、茶の栽培の技術を知りたいと、田代町に訪ねて来た。彼等は、茶の栽培の技術を知りたいと、田代町に訪ねて来た。

この二人は、鹿児島県君付村、川畑村の青年で、昨年四月田代町に茶実習に来た。彼等は、茶の栽培の技術を知りたいと、田代町に訪ねて来た。彼等は、茶の栽培の技術を知りたいと、田代町に訪ねて来た。彼等は、茶の栽培の技術を知りたいと、田代町に訪ねて来た。

年始実践運動

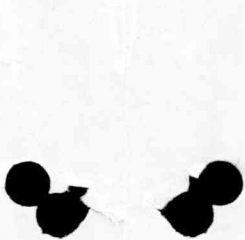


〇年の初めに一家そろつて、神社、お寺、お墓にお参りしましょう。

〇年の初めにハツキリした一年の計画を立てましょう。

〇回礼は男三日、女七日以内にすませ、形式的な回礼はやめましょう。(夜間の訪問は遠慮しましょう。)

〇正月は家庭本位にたのしく過ごし、七草祝いには子供本位にして、意義深く簡素にしましょう。



える

人となつて

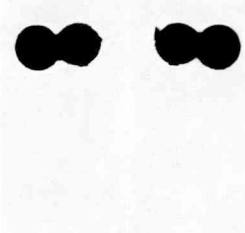
倉元 久美子

二十才……ハタチ……オトナくすぐったい旋律が体を駆け回る。たつた一日を経ただけで、昨日の私とはずいぶん違う。

二十才。本当の人生はここから始まるような気がする。しなければならぬこと、考えなければならぬことがいっぱいあるだろう。しかし具体的に何をなすべきかはつきりつかぬ。

一九才という年に私は一つの夢を抱いていたが、それもかなわず二十才を迎えてしまった。世の中の醜さ、矛盾に反感をいだき、人間が信じられなくなったり、自己嫌悪におちいつたりしたが、時の流れに自然に流されて、十九才までの基礎づくりを余りにも無為に過ぎてきたようだ。

二十才という人生の区切りで、人間の生命は余測できないが、それでも私は残された時間を思う。生きることを見きわめ、人間を見きわめていきたい。目先のことにとらわれず長い将来を見こして生きることはむずかしいが、二十才になった今、せめてそう思いたい。



か

か

釘田 裕子

この世に生命をうけて20年……私は今まで何をしていたというのでしよう。そして20才をむかえた今、何をしたいというのでしよう。一抹の不安が私の胸に宿ります。

ベビーブーム私達にずつとつきまとっているいやなやつです。入学、就職、この間のことばで何回、いや何十回と涙したことでしよう。「これじゃ養老院も入養老試験をやられるわよ」と友達と大笑いしたこともありました。でも20才になった今、ベビーブームということが、心強くなってきました。

多い私達に選挙権が、与えられるのです。日本を守つていつてくれなければならぬ政治家の方々の非道徳的な現在の姿……どのような破廉恥な事件を、おこしても、次回の選挙には、堂々と立ち、それがしかる、当選する。

過去何回も見てきた日本の選挙の現状です。いきどおりに感じる前に、苦笑いをしてみよう。このようなかだけはしょうか? このようなかとは絶対になくしたいと思うのは



冬休み中の少年非行防止

十二月は年末特有のあわただしから自分子どもに注意がゆき届かなくなり、放任しがちになります。自分の子供に限つてという考えも持たずに冬休み中は特に子どもの行動に注意して規則正しい生活をさせるようにしましょう。

戸籍手数料が改正されました

一月一日から戸籍手数料が次のとおり改正されました。

謄抄本(一枚当り)四〇円→五〇円

戸籍簿閲覧



一月一五日は成人の日。新しく成人になられた方から心からお祝い申し上げます。

本町でも今年約一四〇人の方が成人とされますが、大部分は町外へ転出されており、町内に残つておられる人は約四〇人と考えられます。

これらの町内に残つておられる成人者に、成人となつた感想を求めたところ、次の二人の女性から原稿をいただいたので、掲載します。

女性だけで男性の分がないのが誠に残酷ですが、二人の感想を通して、若い世代のものみ方、考え方を充分理解していただきたいと思っています。

明日の農業

農業はどう変わりつゝあるか

最近の農業は経済成長の影響を受けて大きく変わりつつありますが、その実態を紹介して、将来の農業経営の考え方の一つの指針にしたいだきたいと思ひます。

1. 農家の動き

全国の農家戸数は三五年度の六四〇万戸が四〇年には五五八万戸と、毎年約一六万戸減つています。これらの離農は、三反以下の小規模農家が全体の七〇%を占め、規模拡大の傾向を示しています。

一方農家の若い人々の流出は依然として続き、農業就業者の七〇%は婦女子と六〇才以上の男子となつています。

2. 農業生産の動き

農業生産中に占める米麦等の耕種生産は三五年度の八二%が四〇年には七三%と五年間に約十%減少し、これに伴つて耕地の利用率も三五年度の一三三%が四〇年には一二二%と低下しています。

耕種生産の不振とは逆に、畜産生産は毎年約一五%の確実な伸びをみせ、農業の成長部門の一つとなつています。

又国内の食糧自給率をみますと、三五年度の八七%が四〇年には八二%に下がり、食糧の自給率は年々低下の傾向を示しています。

3. 農地の動き

四一年の全国耕地面積は五五九万六千ヘクタールで、前年に比べ約八千ヘクタールの減となつています。この中で水田面積は、米の価格補償という強みのため、東日本を中心に僅かながら増えていることが注目されます。

又農地の移動は全体として、規模拡大の方向にあり、移動農地の五〇%は一町未満の農家へ譲られ、このため一町五反以上の農家が増加しています。

4. 農家経済の動き

四〇年度の全国農家一戸当りの

平均所得は七六万一千円で、前年に比べ一四%の増となつています。農業所得の成長部門は稲作と畜産で、何れも前年に比べ三三%の伸びとなつています。前年に比べ

農業所得の伸びた地域は、北海道、東北、九州の三地域で、その他の地域は停滞気味となつています

又農家所得の伸びは、従来は農外所得が農業所得を上廻つていたが、四〇年は逆に農業所得が農外所得の伸びを上廻るといふ、注目すべき結果が出ています。

農業所得の伸びに対応して、農家支出も伸び、家計費の一戸当り平均額は年間六万五千円で、前年に比べ一二%の増となつています。又基盤整備、機械導入等の資本投資も前年に比べ約十二%増加しています。

5. むすび
農業所得は年々伸びているが、これは生産の伸びよりもむしろ生産者価格の値上りに支えられている傾向がある。

上昇する生活水準を維持するためには、農業収入だけでは足りず農外収入を求めて兼業化が益々増加の傾向にある。

企業的な農業経営を目指した専業農家が漸増の傾向にあり、東北、北海道、九州でこの傾向が著しい。



明けましておめでとうございます。皆さんお元気でよいお正月を迎えられたことでしょう。

昭和四十三年、千九百六十八年が、どなたさまにもよいお年でありましよう、お祈りいたします。

元日の初まりり、お年賀などおすみですか。わたくしは日本人、やつぱり、それを済ませないと何となくお正月を迎えたような気がしません。

四日は役場御用始め、各仕事場でも仕事初めです。そんな時の衣服の準備はすでに整つてることでしょう。

交通事故防止に一役

中郡の中村さんから拡声器を寄贈

十二月十三日麓交差点に拡声器が取付けられました。

これは最近東中郷部落に移転して来られた電機商中村義雄さんが交通事故のない明るい町づくりのため自分から進んで寄贈されたものであります。

最近の交通事故激増に対して

六日は小寒、いよいよ寒さがきびしくなります。かぜをひかないように……。血圧の高い方はとくにご注意ください。

八日から、小中学校始業式、学年最後のたいせつな学期です。お正月気分を早く切り捨て、じつくり、しめくくりの勉強をいたしましょう。

十五日成人の日、この日成人式をあげる方は「おとなになつたことを自覚し、自ら生き抜く決意」がほしいものです。二十一日は大寒です。これから立春二月五日ごろまで、一年中でいちばん寒い季節です。この寒さがあれば、春がやつてきます。

家庭をあずかる主婦の方々はお正月の気ぜわしさからのがれて一日ゆつくり休養をおとりになることをおすすしめします。

鹿児島県では現在交通事故防止臨時事態宣言を発令しました。

田代駐在所では朝夕この拡声器によつて交通指導を行なつています。年末年始は人の気もせわしいので事故を起さぬようみんなの注意して明るい事故のない町づくりのために協力下さい。